

令和元年度 第2回袖ヶ浦市文化財審議会

- 1 開催日時 令和元年10月11日(木)
午後1時30分～午後3時05分
- 2 開催場所 袖ヶ浦市郷土博物館研修室

3 出席委員

会 長	山田 常雄	委 員	日塔 和彦
副会長	成田 篤彦	委 員	梶原 正方
委 員	鈴木 仲秋	委 員	高橋 克

4 出席職員

生涯学習課長	小阪 潤一郎	副主査	大河原 務
副課長	稲葉 理恵	学芸員	鎌田 望里
主 査	田中 大介	学芸員	助川 諒

5 傍聴定員と傍聴人数

傍聴定員	5人
傍聴人数	0人

6 報告

- (1) 令和元年度文化財保護事業について

7 議題

- (1) 市指定文化財の候補について
- (2) 宮ノ越貝塚の調査について
- (3) 旧進藤家住宅の害獣・台風被害状況について
- (4) その他

8 議事等

山田会長：議題(1)市指定文化財の候補について事務局に説明を求めます。

事務局：資料P.3から5に基づき説明。

山田会長：平成30年度第3回審議会においてこの土偶の指定について提案がありました。その時に出された意見として、同時期の周辺の遺

跡、遺構はどのようになっているのか、また、共伴する遺物についてどうなっているかとの意見が出ました。これを受けて今、説明がありましたが、土偶の上半部が出土したのはどのあたりになりますか？

事務局：上半部は別紙1の6頁のグリーンに囲われたところになります。

山田会長：下半部は？

事務局：その隣の区画、185ピットから出土しました。しかし、出土地点を記録せず一括で取り上げましたので、こちらのピットに完全に伴うものなのかについては、不明です。

山田会長：こちらのグリッドの中には遺構はあるのか

事務局：はい、全体で200基のピットがあり、グリッド内からも見つかっています。今回示したグリッド内出土土器の重量については、ピットから出土した土器については含んでおりません。

山田会長：上半部の出土場所はどこになるのか

事務局：グリッド一括野遺物としてあげています。遺構の中からの出土はありません。

山田会長：レベルは？

事務局：わかりません。

山田会長：今日は出土品を持ってきているのか

事務局：共伴土器についてはご用意していません。土偶は、博物館常設展示しています。

山田会長：委員の意見により今回、土偶の出土位置と、周辺の遺跡のデータを出していただきましたが、鈴木委員、何かありますか？

鈴木委員：よくものがついた。依存はない。いいと思うが。

山田会長：時期も推定できる。また、土偶としても完形に近い。

もう一つ、東上泉遺跡からも土偶が出ているようだが

事務局：5ページの左下の図に掲載されているものになります。

現物を確認したところ、今回の土偶と胎土が似ている。

また、打越岱遺跡出土の土偶の裏面に見られる細く縦に施されている沈線が、東上泉遺跡出土土偶にも共通した特徴として見られることから、同時期のものと推測されます。

山田会長：これは、所有は県ですか？

事務局：はい。そのようになっています。

山田会長：同時期のものが近くで出土しているとのことだが、単独指定にしてもいいのか。

事務局：今のところ、同時に指定することは考えていない。

山田会長：指定の候補として考えてもいいかと思うが、単独が良いかどうかこの沈線文系の土器等と一緒に指定したほうがいいのか。

遺構についてはどうか。

同時期の土器についてデータを出しなおしてもらい、再度検討することとしたい。

山田会長：では、次の議題の宮ノ越貝塚の調査について説明をお願いします。

事務局：10ページ、別紙2、現物実見により説明。

山田会長：これまでの調査で分かった貝層の規模は？

事務局：東西65m、南北75mになります。

鈴木委員：土地改良等の計画についてがあるのか。また、その他開発の予定があるのか。

事務局：現在予定されている開発などはございません。

山田会長：貝層の限界確認等をこの調査計画に沿って進めていただくということによろしいでしょうか。

委員：了解した。

山田会長：(3) 旧進藤家住宅の害獣・台風被害状況について事務局から説明をお願いします。

事務局：現地にて説明いたします。(旧進藤家住宅に移動し、説明)

山田会長：(4) その他の説明をお願いします。

事務局：その他ですが、次回の審議会の日程について、11月28日(木) 13:30からを予定しております。よろしく願いたします。

原案どおり了承された。

午後3時05分終了